

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【公表番号】特表 2003-504312(P2003-504312A)

【公表日】平成 15 年 2 月 4 日 (2003.2.4)

【出願番号】特願 2001-504417(P2001-504417)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 K 31/704 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 51/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 31/704

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 49/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 8 日 (2007.6.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ポリマー薬物結合体であって、以下：

i) 少なくとも 1 つの抗癌剤；および

i i) デキストリンポリマーであって、ここで、該デキストリンポリマーが、ポリマー薬物結合体の安定性が増強される点で特徴付けられる少なくとも 20 モル%までのスクシノイル化によって修飾される、デキストリンポリマー、を含有している、ポリマー薬物結合体。

【請求項 2】 前記デキストリンが少なくとも 30 モル%までスクシノイル化される、請求項 1 に記載のポリマー薬物結合体。

【請求項 3】 前記デキストリンが 30 モル%から 40 モル%までスクシノイル化される、請求項 2 に記載のポリマー薬物結合体。

【請求項 4】 前記デキストリンが 32 モル%から 36 モル%までスクシノイル化される、請求項 3 に記載のポリマー薬物結合体。

【請求項 5】 前記デキストリンが約 34 モル%スクシノイル化される、請求項 4 に記載のポリマー薬物結合体。

【請求項 6】 前記デキストリン中の - 1 - 6 結合の割合が 10 % 未満である、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のポリマー薬物結合体。

【請求項 7】 前記デキストリン中の - 1 - 6 結合の割合が 5 % 未満である、請求項 6 に記載のポリマー薬物結合体。

【請求項 8】 前記デキストリンの分子量が 1000 ~ 200000 の範囲の平均分子量である、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載のポリマー薬物結合体。

【請求項 9】 前記デキストリンの分子量が 2000 ~ 55000 の範囲の平均分子量である、請求項 8 に記載のポリマー薬物結合体。

【請求項 10】 前記デキストリンが、12 よりも大きい DP のポリマーを 15 % より多く含む、請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載のポリマー薬物結合体。

【請求項 11】 前記デキストリンが、12 よりも大きい DP のポリマーを 50 % より多く含む、請求項 10 に記載のポリマー薬物結合体。

【請求項 12】 前記抗癌剤が、以下からなる群より選択される、請求項 1 ~ 13 のいずれかに記載のポリマー薬物結合体：シクロホスファミド；メルファラン；カルムスチン；メトトレキサート、5 - フルオロウラシル；シタラビン；メルカプトプリン；アントラサイクリン；ダウノルビシン、ドキソルビシン；エピルビシン；ピンカアルカロイド；ビンブラスチン；ピンクリスチン；ダクチノマイシン；マイトマイシン C；タキソール；L - アスパラギナーゼ；G - C S F；シスプラチン；カルボプラチン。

【請求項 13】 請求項 1 ~ 12 のいずれかに記載のポリマー薬物結合体を含有している、薬学的組成物。

【請求項 14】 前記組成物が、希釈剤、キャリア、または賦形剤を含む、請求項 13 に記載の薬学的組成物。

【請求項 15】 癌の処置のための医薬品の製造のための、請求項 1 ~ 12 のいずれかに記載のポリマー薬物結合体の使用。

【請求項 16】 ポリマー薬物結合体であって、：

i) 少なくとも 1 つの生物学的に活性な試薬；および

ii) デキストリンポリマーであって、ここで、該デキストリンポリマーは、ポリマー薬物結合体の安定性が増強される点で特徴付けられる少なくとも 20 モル% までのスクシノイル化によって修飾される、デキストリンポリマー、以下を含有している、ポリマー薬物結合体。

【請求項 17】 前記試薬が画像化試薬である、請求項 16 に記載のポリマー結合体。

【請求項 18】 前記画像化試薬がチロシンアミドである、請求項 17 に記載のポリマー結合体。

【請求項 19】 前記試薬が診断薬である、請求項 16 に記載のポリマー結合体。

【請求項 20】 前記試薬が標的化試薬である、請求項 16 に記載のポリマー結合体。

【請求項 21】 前記標的化試薬がビオチンである、請求項 20 に記載のポリマー結合体。

【請求項 22】 請求項 1 ~ 12 のいずれかに記載のポリマー薬物結合体の薬学的有効量を含む、動物の被験体の処置のための組成物。

【請求項 23】 前記動物がヒトである、請求項 22 に記載の組成物。